

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 幹線排水路実態調査事業（緊急雇用創出推進事業）
-------------------	--------------------------------------

区分	番号	名 称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり
施策	1	総合防災体制の整備
小分類	3	治山・治水対策の推進
主要な施策	2	治水事業の推進
事務事業番号	007	事務事業コード 23132007 事業開始年度 平成 2 1 年度 事業終了年度 平成 2 1 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	幹線排水路実態調査事業（緊急雇用創出事業）
------	------	------------	-----------------------

部 名	都市整備部	グループ名	土木 G
-----	-------	-------	------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	（何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください） 市民
手 段 （ 事 業 の 内 容 ・ 活 動 ）	（目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください） 全体事業計画 幹線管渠等 延長 40km 平成21年度事業概要 幹線排水路実態調査 施行延長 40km
目 指 す 姿 （ 成 果 ）	（事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください） 大雨に伴う道路冠水による交通障害、宅面浸水等の被害の防除に繋がる。
根 拠 法 令 等	（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください） 道路法

指標の推移

区 分		単 位	区 分	21年度 実 績	22年度 目 標	23年度 目 標	24年度 目 標	25年度 目 標
成果 指標	調査延長	km	目標値	40				
			実績値	40				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称 緊急雇用創出推進事業補助金	千円	8,453					0
	地方債	名称	千円	0					0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	0					0
合 計				8,453	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	2,780	0			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		2,780	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 市の排水路の整備に係ること、民間に類似した事務事業がないことから、市が事業主体として実施することが妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 実際に対策を施した箇所は無いが、被災現地の現状を押さえることにより、今後の対応へと繋がる。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 平成21年度で調査が終了した。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 平成21年度で調査が終了した。

担当グループによる評価

終了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	平成21年度で予定していた調査を全て終了した。
----	----------------------	-------------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終了	備考	
----	----	--

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）